

# 「物価高・コロナ禍から 市民のくらし、営業支援の予算」求める 2023年度予算に関する要望 市長へ届ける



日本共産党  
よっちゃん通信  
2022.11/18.217号

物価高騰と、新型コロナウイルスの影響で、市民のくらしと営業は深刻です。「コロナの感染者も東京では1万人を超えました。今年の冬はインフルエンザが流行すると危ぐされています。

こうした中、11月16日、日本共産党市議団は、松原市長宛の「2023年度予算編成に関する要望」を提出し、企画財政部長に要請してきました。

主な予算要望は、「国保税の値上げ計画を延伸し、負担軽減を図ること」「ひとり親家庭への家賃補助」「介護保険利用料の軽減」「難聴者へ補聴器補助」「調布・狛江に保健所復活を都に求めること」「猪方樋管排水ポンプ設置のために早期に用地を取得すること」「国や都への働きかけも含め学校給食の無償化をすすめること」「マイナンバーカードは、個人情報漏洩の危ぐを広く市民に知らせ、保険証の廃止は行なわないうよう国に求めること」「全ての公共施設には再生可能エネルギー100%のものとし、家庭や事業所へも呼びかけること」「市民センター改修は市民参加と市民協働

の推進基本条例を守り、改めて市民参加の手続きを行なうこと」「中央図書館は分割・移転せず、現在地で充実させること」など重点要望30項目、一般要望80項目で、合わせて110項目の内容を要請しました。今後、実現に向け議会でも取り上げていきます。

## 第4回定例会

11月24日から第4回定例会が開会されます。最終日は12月19日です。一般質問では、共産党議員は、市民生活支援、利用できる介護保険に、給食無償化へ、市民センター改修と市民参加・協働についてなどを取り上げます。

5日共産党の一般質問は、9時から宮坂、西村、鈴木、岡村議員の順で行ないます。

みなさんの「要望」「意見をお寄せ下さい。

